

科目名	情報処理			担当教員	糟谷 咲子
単位	2単位	講義区分	講義	ナンバリング	YB1OUT101
期待される学修成果	「基礎教養」「態度」				
アクティブ・ラーニングの要素	グループワーク				
実務経験	(空白)				
実務経験を生かした授業内容	(空白)				
到達目標及びテーマ	[テーマ]本授業は、現代の生活で必須の道具である情報について基本的な考え方を身につけ、情報と社会の関わりについて理解すること、問題解決のためのコンピュータリテラシーを修得することを目的とする。[到達目標]①学内の情報システムを利用できる。②コンピュータの基本的な仕組みと情報の表現の仕方について説明できる。③情報システムが社会の中でどのように利用されているのか、その特徴と問題点について説明できる。				
授業の概要	情報システムおよびコンピュータの仕組みについて学ぶために、実際に本学の情報システムを使用します。また、情報システムの社会利用について、現状を知ると同時に各自で問題点について意見を持てるよう情報の収集・検討を行います。その過程においても情報機器を使用します。このため講義区分は講義ですが、授業内において適宜、課題演習も行います。				

授業計画	
第1回	ガイダンス 情報リテラシーとは 情報システムの利用 (1) 学内システムの構成と機能、ファイルとデータの管理について
第2回	情報システムの利用 (2) メールの仕組みと活用、クラウドサービスの利用[1]
第3回	情報システムの利用 (3) クラウドサービスの利用[2]、情報検索
第4回	情報システムの利用 (4) 文書表現
第5回	情報システムの利用 (5) 数値分析
第6回	情報システムの利用 (6) プレゼンテーション
第7回	コンピュータの仕組み (1) コンピュータの構成要素と役割
第8回	コンピュータの仕組み (2) 情報の表し方[1]数の表現、2進数、10進数、情報量の表し方
第9回	コンピュータの仕組み (3) 情報の表し方[2]文字データ、画像データの表現
第10回	情報システムと社会 (1) メディアの特性、インターネットの現状、デジタル・シティズンシップ
第11回	情報システムと社会 (2) 消費生活における情報の利用 (電子商取引、電子マネー)
第12回	情報システムと社会 (3) ソーシャルメディア、情報発信の利点と責任、ネット検索の社会性と忘れられる権利
第13回	情報システムと社会 (4) 情報と法 (知的財産権 (著作権)、個人情報保護法)
第14回	情報システムと社会 (5) コンピュータ犯罪、セキュリティ
第15回	情報システムと社会 (6) 情報格差 (デジタルデバイド)、教育の機会均等・ジェンダー平等とICT活用

事前学修	2時間	1) 指定した教科書の該当箇所を読んでくること 2) UNIVERSAL PASSPORT (ユニバ) で授業資料をダウンロードし、読んでくること
事後学修	2時間	1) 授業内で取り上げた演習について復習すること 2) 課題が出された場合は、その課題に取り組み提出すること 3) 小テストを実施した場合は、そのテストを復習すること
フィードバックの方法	1)UNIVERSAL PASSPORT (ユニバ) によりレポートを返却し、必要に応じて個別にコメント、または全体に説明する。 2)UNIVERSAL PASSPORT (ユニバ) による小テストを行い、現在の学修課題がわかるようにフィードバックする。	

補足事項	成績評価：レポートについて、評価基準は以下とする。 1) 毎回、その回の授業内容に関する演習および課題を出す。理解度に応じ、0～3点/回で評価する。 2) 総合課題レポートで、情報化社会における問題について現状と課題および解決策について、的確に述べることができるか0～40点で評価する。 成績評価：上記以外の試験・平常点評価について、評価基準は以下とする。 1) 小テストを3回実施し、授業内容に関する理解度を、0～5点/回で評価する。 2) 授業内での意見発表、討論への参加度により評価する。
------	--

教科書				
書名	著者	出版社	ISBN	備考
情報リテラシー	なし	FOM出版	978-4-86510-415-8	なし
参考資料	教科書に加え、UNIVERSAL PASSPORT (ユニバ) 学修支援システムにより、授業資料を適宜、配布する。			

成績評価方法	割合 (%)	評価基準等
定期試験	0%	実施しない
レポート	85%	追加補足事項に詳細を示す。
上記以外の試験・平常点評価	15%	追加補足事項に詳細を示す。